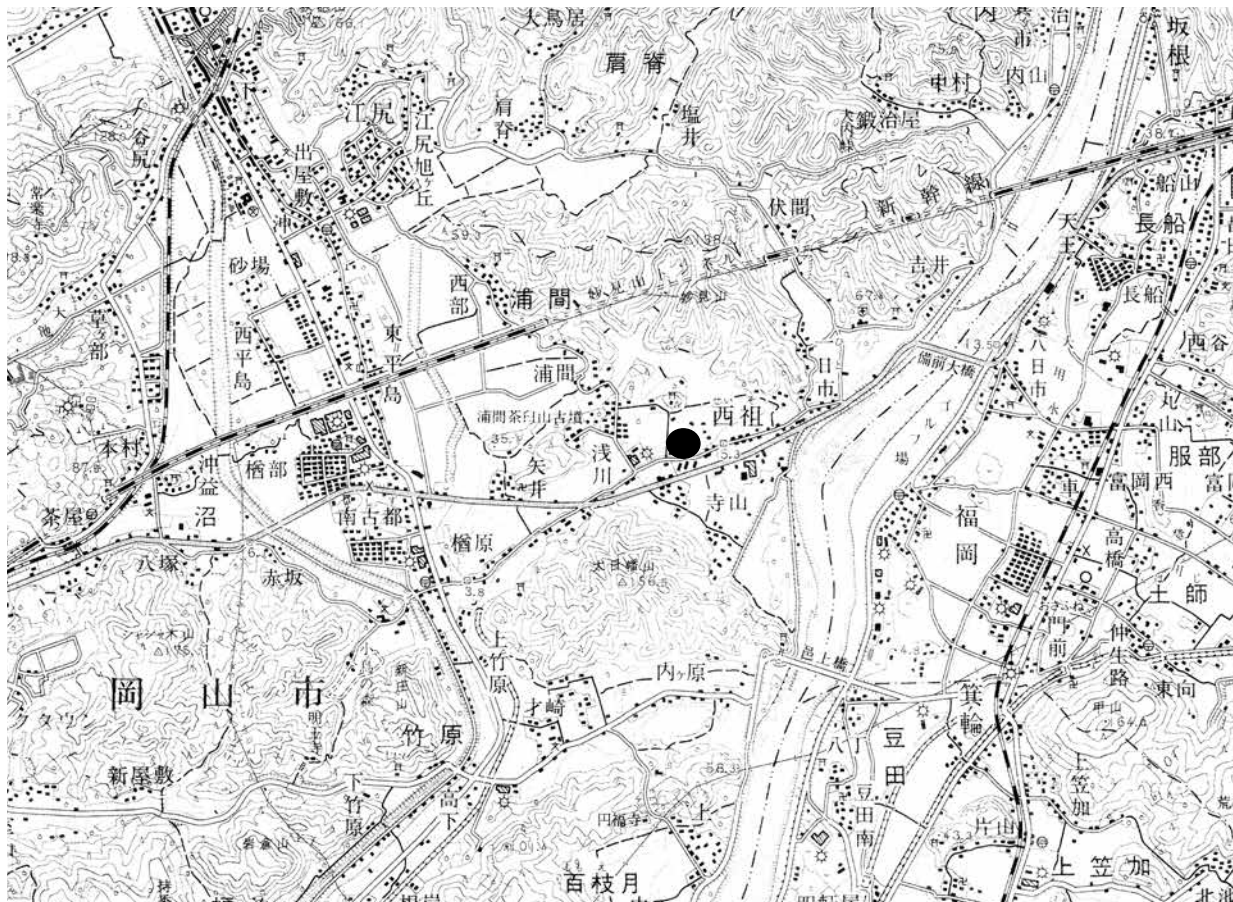


西祖橋本（御休幼）遺跡

扇崎 由

【遺跡の位置】



S=1/50,000

【遺跡の概要】

西祖橋本（御休幼）遺跡は、岡山市東区西祖に所在する。市立御休幼稚園の園舎新築工事に先立って平成2年に発掘調査を行った。発掘調査では、造成前の現代から16世紀後半まで各時期の水田及び、調査区東端に位置する北西－南東方向の溝やあぜ、15世紀後半～16世紀前半頃の掘立柱建物からなる集落跡を検出した。掘立柱建物や柵列は主軸方向から3つのグループに分けることができた。

集落域の東端には溝が掘られていた。この集落を画する溝は江戸時代前期には水田化された後も、その位置や方向をかけることなく、区画施設として現代まで踏襲されていることが明らかとなった。そして、このことから現代の水田区画などを手がかりとして、およそ100m四方の集落域が復原された。

【文献】 神谷正義編 1994年『西祖山形前遺跡 西祖橋本（御休幼稚園）遺跡』 岡山市教育委員会

【交通】 宇野バス「浅川停留所」下車 徒歩10分



图1 柱穴全体图

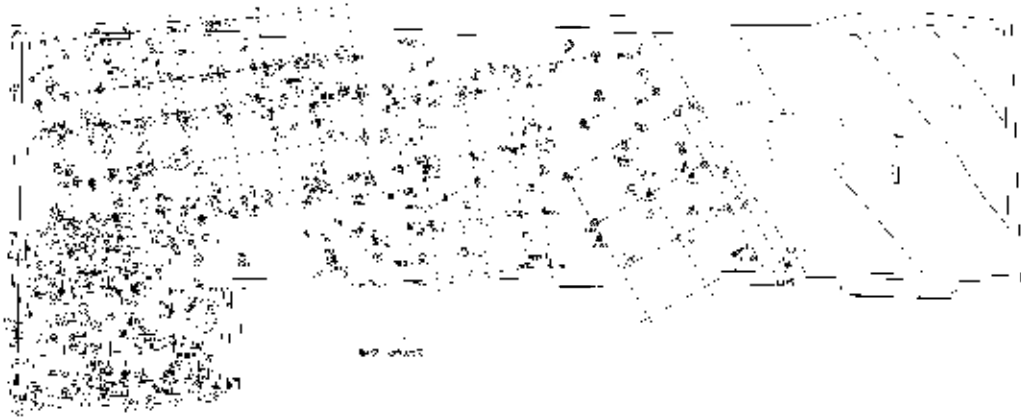


图2 掘立柱建物復原图

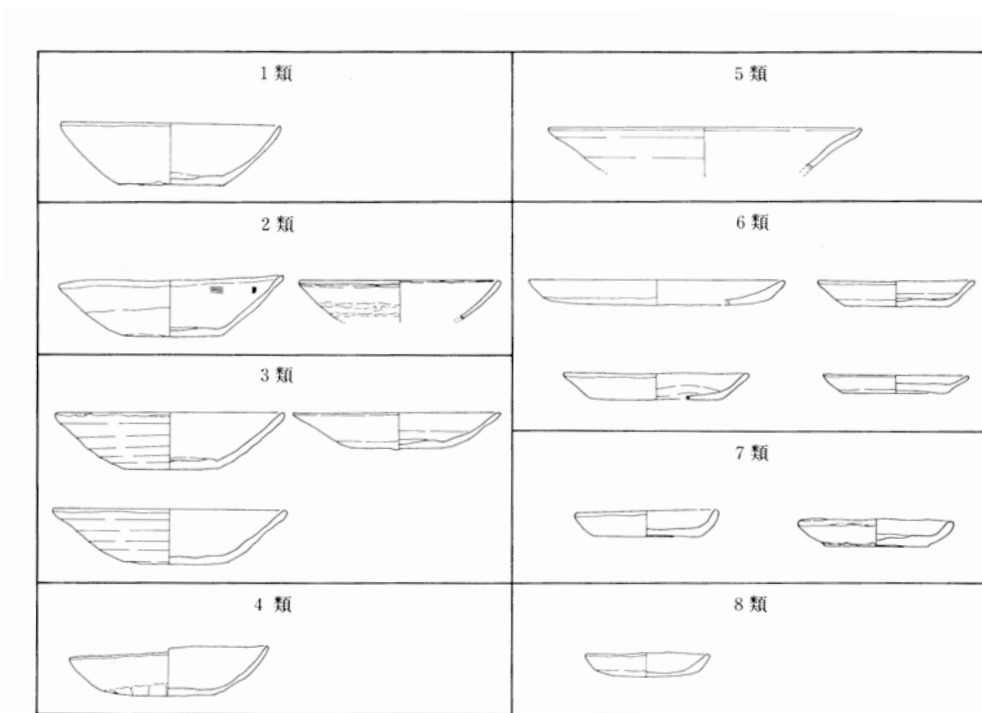


图3 土師器分類图